

海・山・川!!

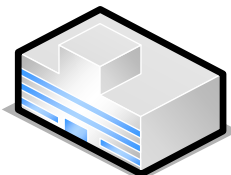
障がい者が満喫するバリアフリーレジャーと地域づくりの相互連携事業

バリアフリー対応型のホテルやフェリーなど檜山管内の独自のストックを生かした障がい者の観光の促進を通して、高齢者や子育て世帯など全ての人に優しいまちづくりを実現するため、宿泊・飲食施設、移動手段、アメニティ施設など観光資源のバリアフリー化を地域ぐるみで進める。

背景



障がい者等の潜在的な旅行ニーズ



全国でも数少ないバリアフリーホテルの開業



北海道新幹線開業による障がい者の旅行の利便性向上



障がい者が観光を満喫できる環境を管内一体的に整備
・檜山観光のセールスポイント
・新たな観光客層の取り込み
etc...

管内全7町の取組

7町それぞれが有する観光資源等を檜山管内全体でパッケージ化し、通年で観光を満喫できる環境を整備

■受入体制整備事業

- 介護技術を有する観光ガイドの配置
- 観光施設等のバリアフリー改修
- モニターツアー等の実施

■人材育成事業

- 宿泊・観光施設、飲食店など観光関連事業者を対象にした研修の実施
- 町内会、ボランティア団体など地域住民を対象にした講習の実施

檜山振興局の取組

バリアフリー化の方向性を定めるとともに、管内全7町や関係事業者等との調整など事業の進行管理を行う

■受入体制整備事業

- 観光資源のバリアフリー度の調査・点検
- モニターツアー等の実施

■人材育成事業

- 地域住民等を対象とした研修を実施

■ひやまバリアフリーレジャー推進協議会

- 管内7町、障がい者団体、観光関連団体等が参画する協議会を開催し、取組状況の共有、今後の方向性等を協議、効果的な情報発信を検討

めざす姿

◆地域ぐるみでハード・ソフトの両面のバリアフリー化を検討、受入体制を整備することで、檜山地域のイメージアップ

◆福祉と観光が連携し、観光客受入体制を整備することにより地域観光力が向上し地域経済を活性化

◆障がい者だけではなく、高齢者、子育て世帯など「全ての人にやさしい町づくり」を通して共生社会を実現